

【 S T E L L A R 】

診療データ統合管理システム
(PACS／生理検査／診療データ／文章)

Nazca (PACS画像管理システム)

NazcaRIS (放射線科RISシステム)



■課題を質問形式で表現

【画像システムの導入を検討中にこんな事にお困りではないでしょうか？】

- ・拡張性がない
- ・使いづらい
- ・カスタマイズや保守費用が高額
- ・ユーザ毎にカスタマイズ出来ないなどお困りではないですか？
- ・放射線科だけでなく、他の科や先生にもメリットあるシステムを導入したい。
- ・地域連携を考えているが良いシステムが無い。

病院の運用に合わせた理想的なPACSシステムの導入が可能になります。

■課題への解決策(導入効果)

PACSシステムの特徴として、ユーザー様毎に細かく設定が可能。操作方法も簡単であり、1つのビューアで手軽な画像参照から読影までを設定可能です。

また、診療データ統合管理システムにより、院内で必要になる患者様のデータを時系列に一覧表示が可能です。整理検査のデータや診療データ、紙による文章やデジタルカメラのJpeg画像などを簡単に取り込み一覧で表示が出来ます。もちろん見たいデータだけに絞り込んで必要なデータのみをユーザー様毎に表示出来ます。

地域連携を実施する上で、連携が難しいシステム上の問題点を時系列Webビューアや遠隔読影システムにて解決します。

■ソリューションの特徴・機能・性能

特徴①使いやすさ

高性能ビューアでありながら使いやすさを優先させたDICOM画像ビューア。操作や権限などユーザー様毎に細かく設定が可能

特徴②STELLAR(診療データ統合管理システム)

放射線科DICOM画像はもちろんStellarの導入により検査データ、紹介状など紙面やJpegデータの取り込みが可能であり、上位システムとの連携によりさまざまなデータを患者様毎に時系列表示が可能。

■導入実績(導入数、導入先、導入事例)

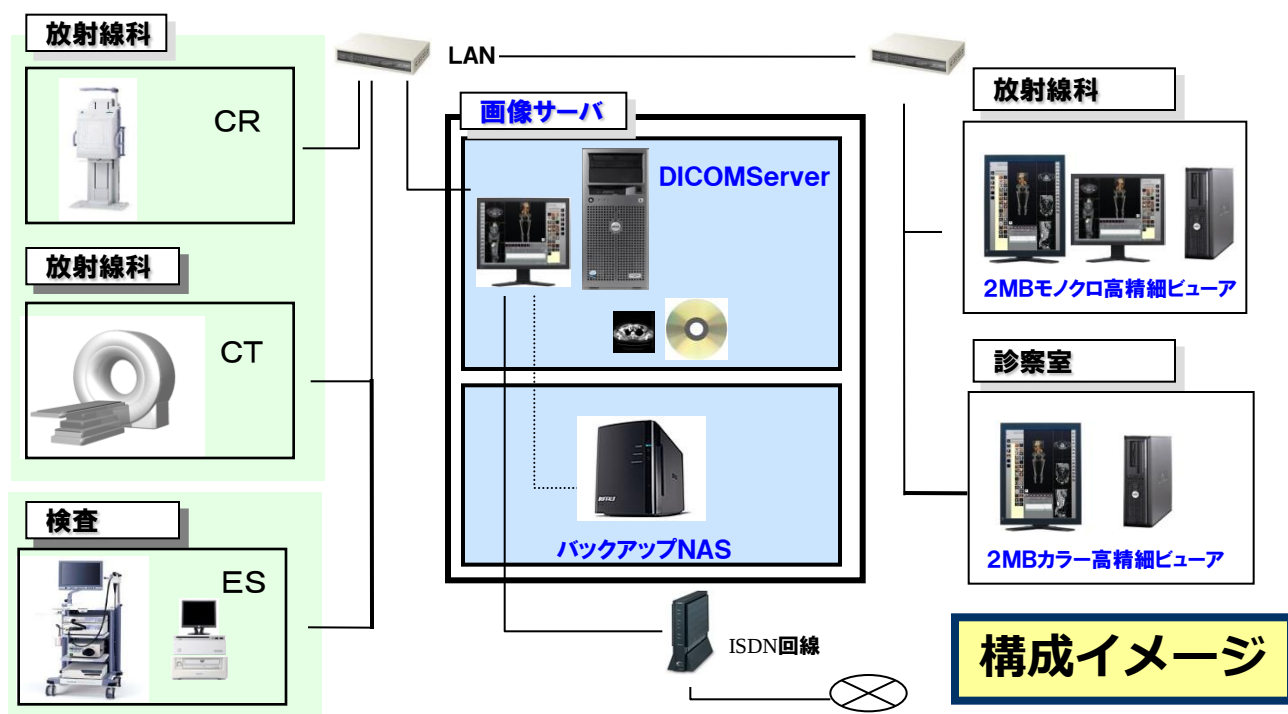
国内における導入実績は150件を超え北海道から沖縄までクリニック様から大型病院様まで対応

名古屋E病院【名古屋】病棟662床

名古屋E病院で新たに緊急病棟を設立。処置をすぐに施せるよう、手を使わないで操作ができるビューアシシステムを要望されていました。そこで弊社のNazca System (PACS) を使って、45インチ液晶ディスプレイとフットスイッチ操作のビューアシシステムを導入しました。操作は全てフットスイッチのみでCTのページングまで対応しているほか、オーダシステムとも連携させ、各処置室毎にオーダの認識を行っています。

結核予防健診センター【仙台】

健診センターにおいてCTバスを購入。それに付随して画像と健診システムを要望されました。そこで弊社のSTELLARが採用され、出張バス健診のシステムとして稼動を開始しています。健診バス用のPACS&RISシステムから初め、院内の検像システムを院内で導入しています。また東北大学やがんセンターへの遠隔読影部分も当システムで実装しトータルに機能を提供しています。



【製品一覧】

- ・PACSシステム (Nazca)
- ・アナログキャプチャDICOM変換システム
- ・診療データ統合管理システム (STELLAR)
- ・放射線RISシステム (NazcaRIS)
- ・遠隔読影システム (StellarNet)
- ・地域連携クリティカルパスシステム (StellarNet)

Nazca
Serve